

# うだちから からだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。  
問 地域振興課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

## 1 昔の榛原を探して街を巡る

～榛原地区まち協～

11月27日、当まち協と榛原地区体協の共催で「今と昔の榛原ウォーキング」を実施しました。  
今回ウォーキングで使用した冊子、タイムトラベル「今と昔の榛原」は次代を担う地域の方や子ども達に榛原の良さを知ってもらい、郷土愛を育むことを目的に令和元年から当まち協が3年間かけて制作しました。この冊子を参加者に配布し、途中ガイドの方が説明しながら約6kmを3時間かけて歩き



ました。まず、冊子に掲載の大正初期の写真に近い宮本の高台から近鉄線と鳥見山、榛原の街を望みました。その後、伊勢本街道、旅籠あぶらや、旧役場跡、宇陀川の新田分岐跡など19か所を巡り出発地に帰着。かなりの健脚コースとなったようです。お父さんと参加した小学2年生の男の子は「最後まで歩いてとても楽しかった」と話してくれました。また、小学5年生の女の子は「出発するときにワクワクした」と楽しそうでした。年配の男性も普段通らない道もあり、とても良かったと感想をもらいました。これを機会に、多くの方が少しでも榛原の街の事に興味をもってもらえたら嬉しいです。

## 2 みんなで楽しむ

～動物コンサート  
～北辰地域まち協～



▲昔の榛原を高台から見た景色

12月18日文化会館において、当まち協主催の「みんなで楽しむ動物コンサート」を開催しました。コロナ感染拡大防止の関係で、実施することが難しい状況でしたが、子どもたちに本物の音楽を聴かせてあげたい、すばらしい音楽を聴いてもらいたい、という思いのもとでの開催となりました。  
当日は、380人あまりの参加がありました。歌のお姉さんによる楽しい動物のメドレー、しらす保育園児の合唱、普段なかなか



▲子どもたちの可愛い歌声に癒されました

聴く機会のないフルート演奏、そして、子どもたちのヴァイオリン演奏による素敵なハーモニー。動物コンサートということで、皆さんが馴染みの動物の歌がたくさん出てきました。保護者の方々には、どこかつかしく、温かな気持ちになれる曲もあり、子どもたちにとっては、大好きな歌ばかりです。演奏や歌など、舞台と会場が一体となって、間近で楽しむことができるコンサートとなり大変好評でした。  
これからも、当まち協では、地域の皆さんが元気になつてもらえるよう、いろいろな事業に取り組んでいきたいと考えています。

## 3 起業進捗報告会を開催しました!

～宇陀市仕事づくり推進隊～  
～ネクストコモンズラボ奥大和～

市内で起業に向け活動している宇陀市仕事づくり推進隊の現隊員5名の進捗について NCL 奥大和宇陀サテライト(旧伊那佐文化センター2階)で報告会を開催しました。コロナ禍により3年間は開催できませんでした。5つの事業が独立に向けて邁進しています。  
以下、5名の活動について紹介します。  
富羽隊員はかつて家業だったうち

わ屋の屋号「富羽団扇」を掲げ、荒れた竹林から竹を採り、箸をはじめとするフォークやスプーンなどのカトラリーを販売しています。また、竹細工のワークショップも開催しています。  
昆野隊員は「YAJU」というオンラインショップを開業し、ドライエイジング熟成肉のお店をオープンを目指し活動しています。また、有名店へも熟成肉の提供を行っております。

入江隊員は薬膳カレー店「透咖喱」を大宇陀追間にオープンし、お客様一人ひとりの体調・体質に合わせたコース料理を提供しています。現在、自然療法

の資格取得や季節によって変わるメニューを開発中です。  
田島隊員は「キクスノヒト」を屋号に木工所や施工現場から排出される木屑を回収し、「食と農」に関連した商品開発をしています。また、全国のさまざまなイベントで商品を展示しております。  
宮本隊員は宇陀の野菜を使った菜食カフェ「MIKOS」のオープンを目指して活動しています。アメリカのヴィーガン料理を専門とする料理学校を卒業し、現在はパスタや「食と健康」について勉強中です。  
宇陀でチャレンジし続けるメンバーの応援を今後ともよろしくお願います!



▲宇陀での起業に向けてがんばるぞー!



## ツワブキ

フキのようで葉の表面につやのあるツワブキが、庭に植えられているのを見ることがあります。鑑賞用に植えたのだと思ってしまうかもしれませんが、本当は薬効から、台所の近くに植えられるようになったのです。  
ツワブキの葉は、堅くて苦みが強く、食べることに向きませんが、葉を強くもんで青汁を出して、患部に付けると、やけど、切り傷、打撲傷をはじめ、できもの、湿疹など皮膚病一般に使われます。また、葉を火にあぶって柔らかくし、表皮をはいで患部に貼るか、細かく刻んで貼っても同じ効果があります。つまり、やけど、切り傷の

ような緊急を要する台所でのけがに対処するために、台所の近くの庭に植えられるようになったのです。  
また、食中毒や魚毒にあたって腹痛や下痢が生じて、生葉を搾って汁を飲むと、腹痛や下痢を抑えることができます。胃腸の弱い人は、塩を少し入れて、のみ汁を搾って、盃一杯程度を、時々服用するとよいでしょう。  
10～11月ごろに咲くツワブキの花やつぼみは、天ぷらにして食べることが出来ます。また、灰汁抜きをして、酢の物とすると色が良くおいしく食べられます。



薬草逍遙(やくそうしやうよう)「毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。」

※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋  
問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075